



1回吐いたら1~2時間ほどは飲んだり食べたりせずにお腹を休めて！
 発熱+頭痛+嘔吐の3つがそろえば『髄膜炎』の可能性あり！要注意！
 緑色そして血性の嘔吐にも注意！お子さんはパパ・ママに怒られたり、
 けがの痛みなどのストレスや不安が原因で嘔吐することもあります。

小児救急電話相談
 「#8000」を活用
 しましょう(P1参照)



吐いた



医師に伝えること

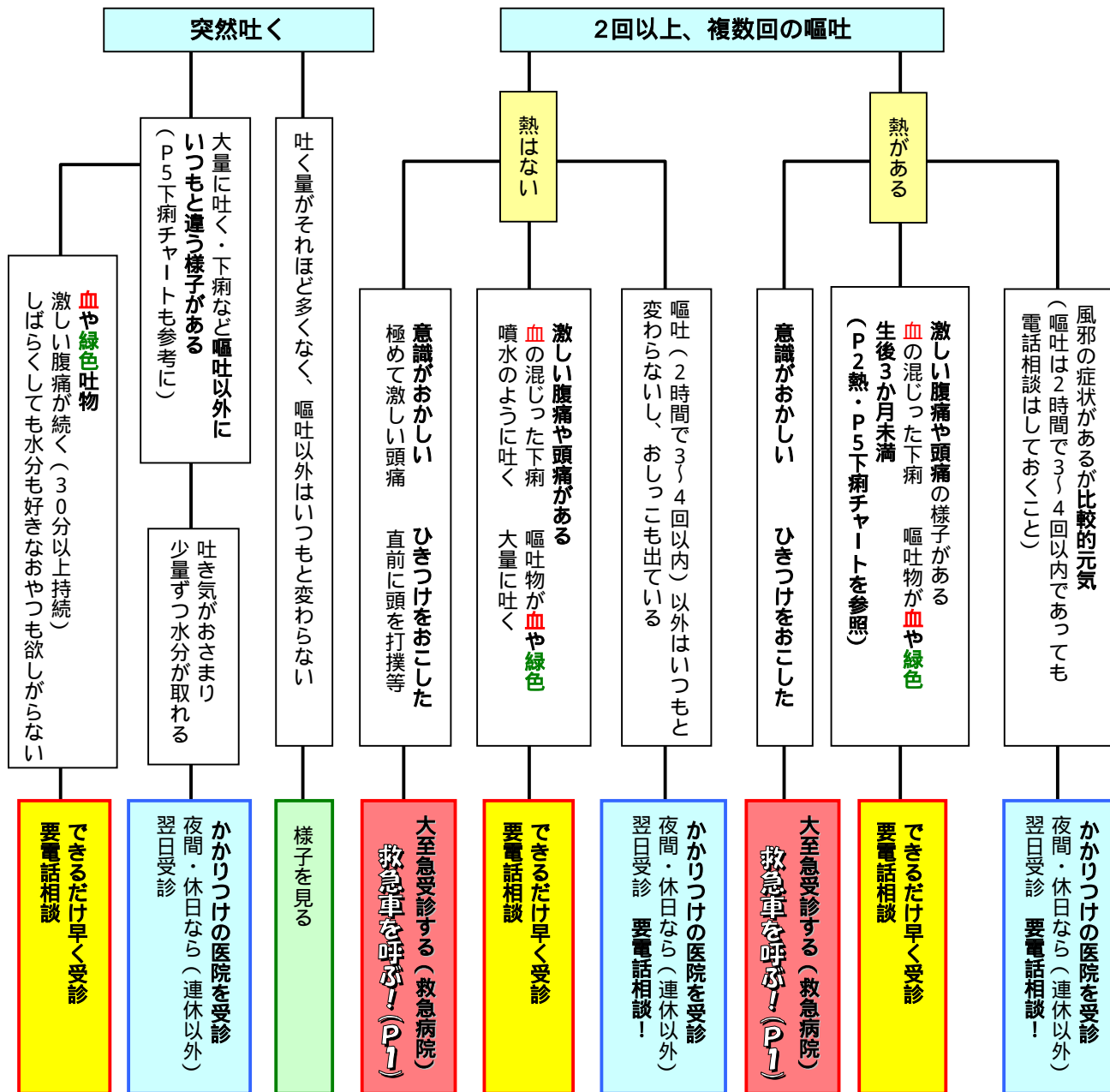
- 吐いた回数
- 吐いたものの内容
- どんな状態で吐いたか
(げっぷと一緒に吐くなど)
- 発熱や下痢など、
嘔吐以外の症状について



ホームケア

赤ちゃんの好きなものを飲ませる。脱水症にならないよう、嫌がらなければ少しずつこまめに水分を補給してあげましょう。(P14参照)
 顔、体、衣類、寝具も清潔に。口のまわり、あごや耳の中など吐いたものが流れ込んでいるときがあります。しめらせたガーゼでそっとふき取ります。
 吐き気が続くときは、やさしくだっこ。だっこの時は赤ちゃんが吐くことも考えて、お母さんは肩から胸にタオルを当てておくようにします。
 寝かせる時は上体を高くして顔を横にして。

全てのチャートはあくまでも目安です。症状は人によって異なるため様子をよく観察し、心配な時は受診すべきかどうかを電話で相談しましょう。



赤ちゃんは少しの刺激で吐くことがよくあります

赤ちゃんの胃は大人のように曲がった形ではなく、細長い筒のような形をしているため、大人より吐きやすいもの。また、胃の入り口である噴門の筋肉が未熟なため、ちょっとした刺激で吐いてしまうことがあります。授乳後に口の端からおっぱいやミルクをダラダラと吐く(いつ乳)ことがあります。元気があり、体重が順調に増えていけば心配ありません。また、げっぷともにおっぱいやミルクを吐いてしまったり、咳き込んで食べたものをどすのはよくあることです。吐いた量が多くなく、機嫌がよくてほかに症状がなければ心配いらないでしょう。